

# おしらせ



こんなときには

## 検察審査会に

今年は法施行45周年

交通事故や詐欺などの被害にあつて警察や検察庁に訴えたが、検察官がその事件を起訴してくれない……。このような場合に、その不起訴の処分が正しいかどうかを審査するのが検察審査会です。選挙権を有する一般国民の中から「くじ」で選ばれた11人の審査員が審査を行っています。

今年、検察審査会法が施行されて45周年を迎えます。検察審査会について詳しく知りたい方は、都城検察審査会事務局まで。

☎ 4131

## 今月の納税

県町民税期  
1

「水辺にやすらぎ  
心にゆとり」

7月は  
「河川愛護月間」  
「海岸愛護月間」

川や海は、憩いと潤いのある貴重な生活空間であり、かけがえのない大切な国民の財産です。私たち一人ひとりの手で、大切な川と海を守りましょう。

## 都城でもできます

パスポート

## の申請・受領

7月から出張窓口を開設しますので、都城でもパスポートの申請と受領ができるようになります。

場所 都城市北原町24の21  
県総合庁舎1階会議室

☎ 4516

開設日 毎月第2、第4水曜日  
受付時間 午前9時～午後5時

詳しくは、  
県総務部国際交流課外務旅券係  
☎ 0985 7004 まで

## 中小企業の

## 労務管理改善を支援します

### ①巡回労働セミナー

中小企業等に専門家が出席し、今日的な労務管理の課題(労働時間短縮、能力開発、健康管理、社員教育等)について、ビデオ教材を利用しながら社員を対象に研修を行います。(無料)

### ②労務管理(RCS)

労働省が開発した社内コミュニケーション診断の技法を用

## 愛のご寄付

い、中小企業における社員の意識調査を行い、組織としての課題を発見し、労務管理改善のアクションプランを提起します。

(無料、診断時間は30分程度、従業員20名以上の企業)

### ◎申込み、問い合わせ先

都城商工労政事務所  
都城市北原町24-21(県総合庁舎内)  
☎ 4518

## 愛の献血



次のとおり献血にご協力いただきました。

○5月28日

役場(来庁者を含む)

成分献血 28名

一般献血 4名

ありがとうございます。今後とも皆様のあたたかいご協力をよろしく願います。

## 火災案内

火災の案内は、テレホンサービスで行っています。

火災が発生した際、場所などを知らしめたいときは、

☎ 8500

## 一般寄付

中米自治公民館 3万円

中米自治公民館(上水勇館長)

は4月29日の早馬祭りでジャンカ馬を奉納され、祝儀の一部を社会福祉事業に役立ててくださいと寄付されました。ありがとうございました。

## 愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次の通りいただきました。

故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。

誠にありがとうございました。

平成五年五月一日から

平成五年五月三十一日まで

寄付者	続柄	故人名	地区	金額
森フヂ子	義父	清信	薗池	五万円
松崎行夫	母	ミカ	薗池	三万円
上西次男	母	ハツヨ	上米	三万円
永橋利昭	母	ミツ	山王原	五万円
児玉イツ	夫	重行	勝岡	三万円
山元美智朗	母	フミ	寺柱	三万円

## 三股町の人口

平成5年6月1日現在  
男 10,454人 出生 27人  
女 11,538人 死亡 17人  
計 21,992人 転入 113人  
前月比+59人 転出 64人  
世帯数 7,389戸(+26戸)

田爪一幸	長男	将一	(3)	寺柱	二万円
新地静夫	母	シノ	(3)	熊原	二万円
森ユキエ	夫	岩男	(2)	山王原	五万円
中原カスミ	夫	節	(2)	上米	三万円
今村安典	母	ソエ	(1)	前目	三万円
政野ツル	夫	政利	(4)	谷	二万円
瀧留哲夫	母	マスエ	(4)	山王原	三万円
東村ワカエ	夫	隆義	(2)	大鷲	三万円

平成5年  
6月号

弓の「肩入れ」をする小倉力さん(60歳)。先代から受け継いだ技と1ミリの狂いも見逃さない勤が、全国に誇る都城弓を生み出す。



みまた

発行・編集 北諸県郡三股町総務課 ☎52-1111 発行6月20日 No.279

# 広がれ!! 善意の輪

## 町づくりを支える ボランティア活動

私たちが、がんばってます

カンボジアの選挙で大きな役割を果たした国連ボランティア……。今、世界の各地で、こうしたボランティアが貧しい国々の子供たちを救うために、また地球環境を保護するために活躍しています。「ボランティア」とは、自ら進んで社会事業などに参加する人、報酬を求めずに人々の幸せのために活動する奉仕者のことです。最近、三股町内でも、このようなボランティアが増えてきました。個人で、あるいはグループで、いろいろな福祉活動をしたり、環境美化活動などに密着した活動に取り組んでいます。今月号では、明るく住みよい町づくりを支えているボランティアたちを、グループを中心に紹介します。



## 声の広報紙づくり

### 東高生がテープ録音

目の不自由な人に声の広報紙を、都城東高校の青少年赤十字クラブは毎月、「広報みまた」をテープに録音しています。声の広報紙づくりは、平成3年5月から生徒たちが自主的に行っているもの。部員がそれぞれのページを分担し、写真の説明を加えながらテープに録音。都城市の点字図書館でダビングしてもらい、町内の視覚障害者に郵送されています。現在、テープを利用している視



## 視覚障害者に好評

覚障害者は15名で、町政の動きや町内の出来事などがよくわかると好評。生徒たちも、目の不自由な人の立場に立って、更に聞きやすいテープづくりがしたいと頑張っています。なお同校では、生徒たちがいくつかのグループに分かれて、定期的に都北地区内にある特別養護老人ホームなどの福祉施設を慰問。車イスの修理をしたり、窓のガラスふきや園内の草取りなどの奉仕作業にも取り組んでいます。

## 技術を社会のため

### 老人ホームで理容奉仕

#### 理容組合三股支部

理容組合三股支部(山下新六支部長、組合員23名)は毎年、正月前と敬老の日の前の年2回、老人ホーム「清流園」で散髪の無料奉仕をしています。「老人ホームができた年に始めた」と聞いていますから、もう、かれこれ30年になるでしょうか。自分たちの技術を社会の



支部長 山下 新六さん(51)

ために活かせるし、それに、この活動によって組合の団結も図られています。」

## 表玄関はいつも美しく

### 毎月「三股駅」を清掃

国鉄OB会

国鉄OB会(山下三男会長、会員87名)は毎月25日、無人駅になっている三股駅のトイレ清掃や花壇の手入れ、周辺の空き缶拾いなどを行っています。

「駅は、いわば町の表玄関。いつもきれいに思うのが当然でしょう。しかも、私たちが長年お世話になったところ。みんな、高



齢者ばかりになってきましたが、可能な限り続けていこうと話合っています。」

会長 山下 三男さん(66)



## お湯加減は いかが?

体を清潔に気持ちよく過ごしてもらおうと、入浴ボランティア委員会(山下文夫代表)は、都城市と北諸郡内の寝たきりのお年寄りを対象に入浴サービスを行っています。委員会のメンバーは、会社員や公務員、保母、自営業者、主婦、高看学生など約100名。三股町内からも7、8名が参加。入浴車は、昭和62年に日本テレビ「愛は地球を救う」の番組から寄贈を受けたものです。現在、入浴サービスを行っているのは月平均延べ20名。活動は、日曜日が午前と午後の2回、第2、第4土曜日がそれぞれ1回で、メンバーは休日を返上し、入浴車で盆地内を駆け回っています。



代表 山下 文夫さん(44)



## 特老で洗濯物たたみ

### 「麦畑グループ」

特別養護老人ホーム「三光苑」でボランティア活動をしているのが、麦畑グループ。今春、同施設が高才原に開設されたのを機に、町内の婦人7名で結成しました。主に行っているのは、入居者の衣類やおむつ、タオルをたたんだり、花壇の手入れなどをする。会員が2、3人ずつ、仕事の合間などを利用して施設に行くようにしています。会員は、「前から何か人のためになることをと話合っていました。いが始めると、自分たちができるのか、続けられるのか不安で、なかなか勇気がいりませんでした。活動を始めてまだ1か月が過ぎたばかり。お年寄りのためになればと頑張っていく

## 入浴 ボランティア委員会

### 寝たきり老人に 入浴サービス

つもりです。いつかは自分たちも歩く道ですから……。」と話しています。

# 環境美化に取り組み 男性グループ

環境美化や青少年の健全育成などに、10年間も取り組んできた男性グループがあります。昭和57年に結成された山王原金曜会（渡辺清会長、会員18名）です。

結成当時、集落の会合に出席していたのは女性がほとんど。このため、男性の集いが必要と賛同者が集まって、毎月第2金曜日に定例会を開催することにしました。以来、3月と8月の年2回、県道都城北郷線や広域農道などの空



新ひむかづくり運動の推進団体としてこの5月、松形知事が表彰。6月には環境美化で環境庁長官から表彰されています。

き缶拾いをしたり、県道沿いに90個ものプランターを設置して、毎年、種子から育てたパンジーやサルビア、葉ボタンなど四季折々の花で道行く人の目を楽しませています。

また、伝統行事の「オネツコ」を復活して毎年1月7日に実施したり、夏休みに子供会が主催するキャンプを支援し、子供たちに学校で学べない体験学習をさせるなど青少年の健全育成にも一役買っています。

## 週一回の定期便

### 一人暮らしの老人に弁当

一人暮らしのお年寄りに温かい弁当をと、梶山の鍋倉ユウ子さん(63)、下新の森タツエさん(65)、上米の原田タミ子さん(62)の3名がボランティアで弁当を配達しています。

弁当配達は、町社会福祉協議会（福永昌徳会長）が取り組んでいる事業。対象者は約35名。介護ヘルパーが水曜日に川北側、金曜日に川南側を配達していますが、人手が足りないため、鍋倉さんたちが協力しているものです。

弁当作りをするデイ・サービスセンターが、毎日訪れる利用者の食事作りに忙しいため、週2回の



弁当作りをする鍋倉さん

弁当作りも手伝っています。その一人、原田さんは「週一回の弁当をととても心待ちにされています。

長田壮年部（太田原俊允会長、部員20名）は毎年2回、老人ホーム「清流園」の草刈りや側溝のドブさらいをしたり、沖水川上流の美化に取り組んでいます。

## 老人ホームで草刈り

### 奉仕活動で組織活性

#### 長田壮年部



会長 太田原俊允さん(52)

「過疎が進むにつれ、壮年部活動も下火になっていました。このままではいけない、壮年部の活性化を図ろうということで始めたんです。真夏の作業など大変ですが、入園者に感謝されると疲れもいっぺんに吹き飛びますよ。」



原田タミ子さん

「ようです。喜んでもらえるので、やりがいがあるし、それに、一人暮らしのお年寄りに対する声かけにもなりますからね。」と語ってくれました。

## 絵本の読み聞かせ

### ぶどうの会が活動

美しい日本語や豊かな表現力身に付けるには早いうちからと、ぶどうの会（代表・堂領敦子、会員6名）は、幼児を対象に絵本の読み聞かせなどのボランティア活動を行っています。

ぶどうの会は、乳幼児を持つ母親が昭和61年に結成。子供の成長にともない、代々、若手の母親に受け継がれてきた会です。

活動としては毎週水曜日、就園前の幼児を図書館に集めて絵本の

読み聞かせをしたり、保育園や幼稚園を訪問して、読み聞かせや紙しばい、人形劇、パネルシアターなどを行っています。人形劇などに使う小道具も自分たちで作った手作りのものがほとんど。

代表の堂領さんは「読み聞かせを通じて子供とのスキンシップができます。幼児期は、これが一番大事なんです。それに、自分たちの勉強にもなるし、子供が大きくなっても会に残りたいという人も



出てきています。会員になりたい方は、いつでも大歓迎です。」と語ってくれました。

入会希望者は、☎6389 堂領さんへ。

## ひとこと



視覚障害者福祉協会 会長 馬渡四郎さん(65)

毎月、テープが届くのが楽しみです。町の動きなどがよく分かるし、必要な箇所は繰り返し何度も聞いています。

生徒たちには大変お世話になっていますので、会の新年会や総会に代表を招待し交流も深めています。



柳橋 ヤスさん (73歳、勝岡)

毎週金曜日に、弁当をいただいています。あったかいし、おいしいし、一週間が待ち遠しいぐらいです。



三股小6年 下石 弥生ちゃん(右) 中村 美穂ちゃん(左)

先週の日曜日、お母さんたちと空き缶拾いをしたばかり。いっぱい落ちていて、捨てるのはよくないことだと思います。



勝岡小5年 前村 昇くん

ボランティアって初めて聞いたけど、空き缶拾いだったらしたことがある。大きくなったら人のためになることをしてみたい。

## あなたも

### ボランティア活動に 参加しませんか

## ボランティア登録

町社会福祉協議会では現在、ボランティア登録を行っています。何か社会のために役立つことをしたいんだけど、何をしたらいいのか分からないとか、自分の持っている技術を社会に活かしたいと思っている方など、ボランティア活動に興味のある方はご連絡ください。

名簿に登録されると、活動の概要や活動を受け入れる施設などを紹介します。

三股町大字樺山4573番地  
三股町社会福祉協議会  
☎1246

## 勝岡みどりの少年団

勝岡みどりの少年団は、勝岡小の児童10名が所属。毎年夏休みにわにか山頂や登山道のゴミ拾いをしたり、巣箱の設置など自然保護活動に取り組んでいます。



# ふるさとへの便り



石坂 募 (62歳・上米出身)

「はい、98センチ。」小学校1年生の最初の身体検査での私の身長である。

回りの人は、みんな1メートル〇〇センチ。子供心にも奇異に思ったものである。「コメテンコメンダゴ」誰が言い出したのか定かでないが、当時は尋常高等小学校、多分、高等科のお兄さんたちだろう。

中学1年で陸軍幼年学校を受験。当時、五体満足な男は軍人志望がしごく当然のことであった。背が足りないのは承知の上での受験。学科試験に先立ち身体検査、それもいの一に身長計測ときた。結果は案の定、「軍隊は軍服を体に合わせにやいかん、大きくなって出直して来い。不合格」、「復唱、不合格」。不動の姿勢で挙手の敬礼。2年の時終戦、再びアタックすることはなかった。

高校卒業と同時に上京。昭和25年のことだから極端な食糧難時代。もともと粗食に耐えることは慣れていたので、食うことにはさほど苦にならなかったが、困ったのは洗濯。冬の日など、凍えそ

## コメテン コメンダゴ

うな手で洗濯板でござし、メリヤスなんかやれたものじゃない。その頃から、冬でも下着は越中フンドシにラニンダゴとステテコ。これがすっかり習慣になつてしまひ、いまだに頑固一徹を通して

20代から30代にかけ



て、私の呼び名も変わった。「マメタンク」である。「山椒は小粒でもピリリと辛い」と教えるのだが、同僚には通用しない。やはり「マメタンク」が呼びやすいのだろう。

いつだったか、人間ドックで「成人病はことごとく肥満が原因、14キロ体重を落とさなさい。」と言われ、ボクシングの選手ではないから14キロの減量は無理ですと言ふと。「一体、自分の身長がいくらあるのか分かっていますか」ときた。「飛びつき5尺」とは答えて見たものの、少しはマジにいうと思ひ直し、最近では四六時中腹をすかしてダイエットにこれ努めてる。

京都の大徳寺は大仙院でのごと、住職は桃林和尚、何代か前の住職が沢庵和尚だとか。別室に案内され、小1時間お説教を聞かされて帰りざわ、和尚真筆の色紙をもらった。

「五十六は花なら薔薇、七十八は働き盛り、九十になって迎えが来たら百まで待てと追い返せ」とあった。

やれ還暦だ、定年だなどと言っちゃおれない。いつまでも現役で

頑張らなくちゃ。

次は、松山義輔さん(東原出身)にリレーします。

## あなたの声を町政に



福永町長と語ろう  
ふれあい行政  
モーニング・フォーラム

あなたも「あすの三股づくり」に参加しませんか。今後のまちづくりの進め方や三股町の将来像など、皆さんのユニークなアイデア、建設的なご提言をお聞かせください。フォーラムには、どなたでも参加できます。大勢の方のご来場をお待ちしています。気軽な服装でどうぞ。

- 記
- 1、日時 7月20日(火) 午前7時~8時
  - 2、場所 役場4階会議室

毎月20ラムにいっど!!

## 毎月20日に開催

## あかな 贖いの日々

今、私は市原刑務所にいます。私は、ここで自分を甘やかした代償と、そのために犯してしまった罪の償いの日々を送っています。

忘れもしません、一月五日、正月休みを返上しての仕事もようやく終わりに近づいてきた日でした。現場に向かう通いなれた道も、正月休みのなごりか、まだ閑散としていました。

いつものようにインターチェンジから京葉道路上り車線に入ったところ、こも車は少なく閑散としていました。私は加速車線を加速中、前方走行車線を走行している車を三台確認しました。後方を確かめたところ、一台も車が走行していないかつたことと、数百メートル先に合流地点があり、そこで車が重なるのを避けるため、そこまでに前方を走行する三台の車を追い抜いておきたいと思い、一気に追い越し車線まで加速しながら出ました。

追い越し車線で加速を続け、走

行車線を走行している三台を確認したところ、あまり車間距離を取っていないので仲間同士で走行しているものと思ひ込み、スピードを落とさず、約百三十キロメートルのスピードで追い抜きに入りました。

もう少しで最高尾の車に追いつこうとしたとき、三台の車のうち、後ろ二台の車が右のウィンカーを同時に出し、追い越し車線の方へ寄つてきました。私は「しまった」と思ひ慌ててブレーキを踏んだため、タイヤがロックしてハンドルがきかなくなり、次の瞬間、いきなりハンドルが左へ取られ「ガッン」と何かに接触したような感じがしました。私は、とっさにハンドルを右へ切つたところ、そのまま中央のガードレールに衝突し、後ろ向きで停車しました。「やっちゃった」と思つて顔をあげると、前方の分岐点に運転席が壊れて止まっている車が目に入りました。

私は、そのとき初めて、さっきの「ガッン」と何かに接触したと感

## 思い知った スピードの怖さ

電工 27歳

間私は「最悪の事態にだけはならないでくれ。」と祈るばかりでした。

救急車が被害者を運び去り、現場検証をもうろうとした精神状態で終え、警察署に連れて行かれ、ちょうど会社の社長が迎えにきたころ、被害者が亡くなられたことを知らされました。私は目の前が

真つ暗になり「これは夢だ、夢であつてくれ。」と思ひました。社長と一緒に病院へ行つて遺族に会い「人殺し」「子供を返して」とのしられても、私には何もできる筈もなく、ただひたすら土下座して「申し訳ありませんでした。」と謝るしかありませんでした。

それからの毎日は、事故のことが一時も頭から離れず、寝ることもできず食事ものどを通らない日々が続きました。仕事をしても事故の状況が頭から離れず、つまらないミスばかりしてしまひ、いつそのこと死んでしまおうかと思ひました。

思えば私は、確かに街中での運転では交差点や一時停止などには十分注意していましたが、「スピード」への認識が足りなかつたと思ひます。

そのため「これ位なら大丈夫だ。」とか「絶対に事故は起こさない。」などと自信過剰になつていたためこの事故を引き起こしてしまつたと言えます。

「交通安全」とは、交通のルールすべてを守つて初めて言えるもので、一つでも欠けていたらまったく安全ではないのだと、つくづく感じました。そして、それによ

り事故を起こせば自分のもとより、何の罪のない人まで不幸のド底に落ちてしまうのです。自分自身はどんな罰を受けても仕方ありませんが、被害者の人生を奪い狂わせ、遺族を苦しませ、また自分の両親や親類に多大な迷惑や心配を掛けてしまうということに絶対に忘れてはいけません。

これからの私の人生は、事故の罪を一生背負つていかなければなりません。二度と事故を起こさないように、自分自身を甘やかさずに生活していきたいと思つていま



(東京交通安全協会発行「贖いの日々」第27集より)

# ふれあいと対話が築く明るい社会

## 社会を明るくする運動

7月1日  
～31日

もうすぐ、子どもたちが待ち望んでいる夏休みがやってきます。勉強やスポーツ、遊びなど、さまざまな計画を立てていることでしょう。しかし、一方で夏休みは少年の非行が増える時期でもあります。ちょっとした気の緩みからシンナーに手を出したり、万引をしたりする子どもたちがいることも事実です。

情報過多の時代といわれる中、子どもたちを取り巻く社会全体の環境が悪化していることも少なからず原因があるでしょう。しかし、一番大きなウエートを占めているのは、わたしたち大人が子どもたちのふれあいや対話を忘れてしまっていることではないでしょうか。

毎年7月は「社会を明るくする運動」が展開されます。子どもたちが健やかに伸び伸び成長できる明るい社会をつくるために、家庭や学校、職場、地域社会などで、わたしたち大人が親身になって子どもたちとふれあひ、対話を心がけたいものです。そして、非行を防ぎ犯罪を起こさせない環境を、お互いにつくりあげていきたいと思います。

子どもが非行に走ってしまう原因には、家庭環境や交友関係、社会環境など、さまざまなことが挙げられます。また、子ども自身の問題としては、「みんなやっつけていこう」というような甘えた気持ちや、「スリルを味わう」といった興味本意の好奇心が少年犯罪の約70%を占めています。つまり、罪に對



### 子どもたちと

#### ふれあう機会を

もよう

そこで、大事なことは、大人がふだんの生活の中で、子どもたちとふれあう機会を多くもち、繰り返し対話することです。学校のことや友人のこと、あるいは趣味のことなど、身近な話や子どもが興味のあることを話し合ってみてくだ



さい。そして、わたしたち大人が自分の体験談や犯罪の恐ろしさについてアドバイスしたりすること、自然に社会性や自律心を養う

### 地域社会が

#### 一丸となって

#### 明るい社会を

つくろう

一方、わたしたち大人も子どもたちを取り巻く社会環境を、未来に希望のもてる明るい環境に改善していかなければなりません。子どもたちの非行は、周りの環境に敏感に影響されるといいます。ですから、子どもたちの一番身近な地域社会が一丸となって、犯罪のない社会をつくりあげることが大切です。そのためには、学校や家庭、職場、地域が連携をもって、子どもたちに優しい手を差し伸べる必要があります。すべての子どもたちの未来は、光り輝いているのですから。

### 新刊図書のお知らせ

町立図書館では、次の図書を入手しました。ぜひ、ご利用ください。

書名	著者名
【一般向】	
白く長い廊下	川田弥一郎
いつだって青春	堀 威夫
湘南ラブソング	景山 民夫
冬の蟹気楼	山田 太一
世界文学全集	清水 義範
母	三浦 綾子
かくて歴史は始まる	渡部 昇一
男と女はどう違うか	大島 博幸
ザ・スペースエイジ 第四巻	NHK取材班
世界漂流	五木 寛之

小説 上杉鷹山上・下	童門 冬二
女ざかり	丸谷 才一
もっと心しなやかな生き方を	海原 純子
喝ノ四十二歳	佐野 洋

【小・中学生向】	
いれかわり才二	日比 茂樹
こぶたのブクはちゅうしゃがきら	宮西いづみ
にんげんそっくりロボット	さねとうあきら
あくまくんは一年生	浅川じゅん
マコのゆりいす	鶴見 正夫
ポイポイ鳥のうたう日	今村 葦子
くものす山のなぞ	小山 勇
盲導犬カンナ、わたしと走って、	坂井ひろ子

モンスター・ホテルでおめでとう	柏葉 幸子
麦原博士とボスザル・ソロモン	原田 京子
みどり探偵団 全五巻	鈴木喜代春

【幼児向】	
おさるがふねをかきました	まどみちお
てのひらをたいように	やなせたかし
らんどせるのうた	鶴見 正夫
夕日がせなかをおしてくる	阪田 寛夫
パンツはきかえのうた	やなせたかし
いち	谷川俊太郎
うみのにじ	こわたたま
あらどこだ	神沢 利子
いとまきのうた	香山 美子

### 図書館

だより  
(第78号)

図書館だより(第70号)で一読をおすすめした「天の園」「大地の園」全十巻を読んだ、目下、子育て最中のお母さんから、感想文が寄せられました。紙面の都合上一部を掲載しますが、ほんとにありがたい、また、うれしい限りです。

### 「天の園」「大地の園」を読んで

一児の母より

故郷唐子に帰ってきて最愛の夫と死別したかつては、兄忠九郎に「必ず唐子の美しい景色でおなかのくちくなるような子に育てます。」と言ったとおり、保は唐子の自然に恵まれて、汚れなくすくすくと育っていった。

「天の園」では、オトウカ橋でのキツネにまつまられた話、また川で遊んだときのいたずら、山での冒険……と子どもらしい仲間どうしの友情が、わくわくしてとてもおもしろい。

中学(旧制)へ上がった「大地の園」では、学んでいく姿勢、読書との出会い、ロマンス……と、ただ夢中になり読むのに時のたつのも忘れてしまうほどであった。最後の方、大地の園(知と愛の門)で亡夫は「生きとし生ける者、例外なく

### 7月の休館日

週	日	月	火	水	木	金	土
①					1		
②		5	6				
③		12	13				
④	18		20				
⑤		26	27				

数字は休館日、1日は図書整理日。6、13、20、27日は午後1時から開館。

### 詩の広場

#### 子どもの詩

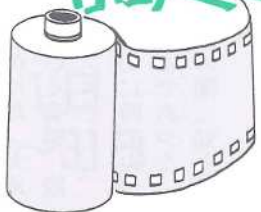
ゆめ  
一番のゆめって 空をとぶこと  
羽ばたきして ふわあって  
ふわあって とびたい  
空とべたら  
気もちよくなるかもね  
雲をベットにしてねむったら  
どんなにいいきもちかな  
だから

おしいれからとんでみたりする  
空  
とつてもとんでみたい  
ゆめ ただそれだけ  
ああ どうしても どうしても  
とんでみたい  
三股西小三年 和気さおり

ぶどうの会では、よみかかせのほかに成長とともに手の離れていく子どもと一緒に過ごせる場をもちたいと、この広場を作りました。子どもたちの心は豊かです。私たち親も、ものを感じるゆと力を心より願っています。



# 町の話題



## 車イスを寄贈

### ニッセン都城店

㈱ニッセン都城店（八崎英一郎店長、本社京都市から、このほど町に車イス一台が寄贈されました。同社は、全国に100店舗を抱える着物販売の大手。「愛の小鳩キャンペーン」の一環として、顧客から提供してもらった古着を換金して車イスを購入、全国の自治体や福祉施設に贈っているもので、今回、都北の市町には計6台



客から提供してもらった古着を換金して車イスを購入、全国の自治体や福祉施設に贈っているもので、今回、都北の市町には計6台

## 四半的大会を開催

### 県内外から450名



競技に集中する選手。本町選手団は大会の運営に追われ、成績はいまひとつでした

県四半的弓道連盟が主催する四半的大会が、5月23日午前9時から町武道体育館で開かれ、県内外から約450名が参加しました。大会は、66歳以上の高齢者の部に84チーム、65歳以下の一般の部に21チームが出場しての団体戦と個人戦。控え席で焼酎などを飲み交わしたりしながらも、いざ競技に入ると4寸半の的に精神を集中、白熱した試合が展開されました。

## 寿大学が開校

### 2年間で8単位

#### 第1期受講生は39名

寿大学の開校式が5月21日、中央公民館で行われ、山王原の坂元親雄さん(80)ら受講生39名が出席しました。寿大学は、高齢者の多様で高度化する学習要求に応えようと、町教委が今年初めて設置したもので、受講対象者は60歳以上の男女。2年間で120時間、8単位を修得することになっています。今年度は生活、健康、歴史、園芸の4科目(4単位、60時間)を予定していますが、大学では学習者自身の自発的意思を尊重することにしており、学習運営はもちろん、2年度の科目についても受講生が話し合って決めていくことにしています。



社ぐるみで福祉キャンペーンを展開されていることに敬意を表します。」とお礼。町では早速、今春開設したばかりの健康管理センターに備えました。で、受講対象者は60歳以上の男女。2年間で120時間、8単位を修得することになっています。今年度は生活、健康、歴史、園芸の4科目(4単位、60時間)を予定していますが、大学では学習者自身の自発的意思を尊重することにしており、学習運営はもちろん、2年度の科目についても受講生が話し合って決めていくことにしています。

## 福祉の動きを勉強

### 介護者教室

町社会福祉協議会が主催する介護者教室が、さきほどデイ・サービスセンターで開かれ、家庭で寝たきり老人などを介護している人やホームヘルパー、一般婦人など50名余りが参加しました。



介護者教室は、高齢化社会の進展を背景に寝たきり老人などを抱えている家庭が増えているため、介護技術の向上などを目的に毎年開いているもの。今回は「福祉の動向」をテーマに、北西福祉事務所長を講師に招いて講演会。在宅福祉の取り組みなど身近な内容だけに、参加者はメモをとりながら熱心に聞き入っていました。

## 自主防災を心がけて!!

### Aランクに37箇所を指定

#### 災害危険箇所調査

長雨や台風などの集中豪雨に備えようと、町では5月31日、町内に点在する急傾斜地やため池などの災害危険箇所を調査しました。危険箇所の位置や地形、危険の程度などをつかみ、災害を未然に防ごうと実施したものの。調査には、消防関係者や警察官、土木事

務所職員、地元代表者など45名に加え、今回初めて都城駐屯地の自衛隊員3名も同行しました。調査の結果、災害危険箇所には急傾斜地58、土石流40、地すべり7、ため池5の計110箇所を指定。このうち、37箇所が危険度の最も高いAランクで、大雨などの際、常に非難しなければならぬ箇所です。シラス台地の多い土地柄、危険箇所指定の有無に関わらず、日頃



から自主防災を心がけたいものです。

## 親善試合で地域交流

### 宮村と梶山

第3地区にできた一町田公園の一部供用開始を記念して、宮村老人クラブ(村尾敏雄会長)は、さきほど梶山老人クラブとグラウンドゴルフの親善試合を行いました。両地区は、地理的には町の南部と北部に位置しているため、ふだんの交流はさほどないところ。このため、地域間交流を深めようと実施したものです。

当日は、和気あいあいのうちに試合終了。懇談会で地元、岩崎自治公民館長が、「このような交流会は、生涯学習をさらに推進するもので、公民館としても大歓迎です」



と激励。話しがはずんだ後、両地区は、今後も交流を深め合うことを約束し散会しました。

## 県民体育大会

### 北諸が躍進賞を獲得

第47回県民体育大会が5月22、23日の2日間、県総合運動公園を中心に開かれ、本町の中石義洋さん(22歳、新馬場)が総開会式で選手宣誓を行いました。

大会には、本町から144名が北諸県代表として出場。結果は、中石さんがアマチュアレスリング68kg級で圧倒的な強さで優勝を飾ったほか、各種目で好成績を納め、郡の躍進賞獲得に大きく貢献しました。

本町選手団の成績(3位入賞まで)は次のとおり

- ☆陸上競技(2、000m) Dの部 加賀幸雄 準優勝
- ☆アマチュアレスリング 68kg級 中石義洋 優勝
- ☆テニス
  - 男子の部 3位
  - 女子の部 3位
- ☆卓球(一般)
  - 男子の部 3位
  - 女子の部 3位
- ☆サッカー 3位

## 118チームが熱戦!!



町ミニバレーボール連盟が主催する平成5年度第1回大会が、さきほど勤労者体育センターを中心会場として開かれました。大会は年代別で35歳以上、45歳以下、55歳以下、56歳以上(会場の都合で35歳以上は後日)に分けて行われ、男女混成の118チーム約700名が参加。予選リーグ、決勝リーグとも白熱した試合が展開されました。優勝チームはつぎのとおり

- 35歳以上II土曜クラブB
- 45歳以下IIレインボー
- 55歳以下II城山A
- 56歳以上II大鷲巣